

インフォメーション

登録衛生検査所 臨床 宮崎

TEL0985-52-6688 FAX0985-52-8093

検査内容変更・受託中止項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

さて、この度、下記項目につきまして、検査の受託中止及び検査内容を一部変更させて頂く事となりましたのでご案内申し上げます。

何卒、ご理解ご了承の程よろしくお願い申し上げます。

謹 白

記

● 受託中止項目:

■ 1639: TBII (TSHレセプター抗体/第1世代)

● 検査内容変更項目:

■ 1175: ピルシカイニド (ピルシカイニド塩酸塩水和物)

■ 2212: レプチン

◆ 内容変更・受託中止期日: 令和3年9月29日(水)受付分まで

※ 詳細につきましては裏面をご参照ください

■ TBII (TSHレセプター抗体／第1世代)

現行測定試薬販売中止のため、検査受託中止させていただきます。
これに伴う関連項目を代替項目としてご案内させていただきます。

◆ 検査内容:

	代替項目	受託中止項目
項目コード	2442	1639
項目名	TRAb/ECLIA (第3世代)	TBII(TRAb) (第1世代)
検査方法	ECLIA	RRA法
参考基準値 単位	2.0未満 IU/mL	判定 : (-) 結合阻害率: -10~+10 %
採取容器/検体量	分離材入り採血管 / 血清0.3mL	同左
所要日数	1~2日	4~5日
実施料	D014 26 抗TSHレセプター抗体(TRAb) 226点 (レセ電コード:160035810)	
判断料	免疫学的検査 144点	

■ ピルシカイニド (ピルシカイニド塩酸塩水和物)

従来検査方法より測定精度の向上を期し、測定試薬を変更させていただきます。
なお、この変更に伴い、検査方法、報告範囲を変更させていただきます。

◆ 変更内容:

	新	旧
項目コード	1175	同左
項目名	ピルシカイニド	同左
検査方法	LC-MS/MS法	HPLC法
参考基準値	治療有効濃度 0.20~0.90	同左
単位	$\mu\text{g}/\text{mL}$	同左
報告範囲	0.05未満~最終値	0.05以下~20.00

■ レプチン

【全身性脂肪萎縮症の診断補助】を使用目的として保険適用された新測定試薬へ変更させていただきます。

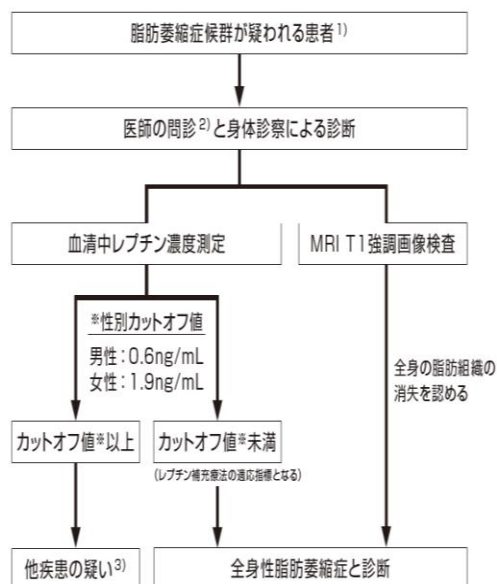
なお、この変更に伴い、検査方法、参考基準値、報告範囲を変更させていただきます。

◆ 変更内容:

	新	旧
項目コード	2212	同左
項目名	レプチン	同左
検査方法	EIA法	RIA・2抗体法
参考基準値 単位	男性：0.6～8.9 ng/mL 女性：1.9～26.6 ng/mL	なし
採取容器/検体量	分離材入り採血管 / 血清0.5mL	同左
報告範囲	0.1未満～52.6以上	0.5以下～最終値
実施料	D014 レプチン 1000点 (レセ電コード:160226550) 脂肪萎縮、食欲亢進、インスリン抵抗性、糖尿病及び脂質異常症のいずれも有する患者に対して、全身性脂肪萎縮症の診断の補助を目的として測定した場合、患者1人につき1回に限り算定する。 本検査の実施に当たっては、関連学会が定める指針を遵守し、脂肪萎縮の発症時期及び全身性脂肪萎縮症を疑う医学的な理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。 (下記、「全身性脂肪萎縮症診断における血中レプチン検査のフローチャート参照」)	
判断料	免疫学的検査 144点	

【全身性脂肪萎縮症診断における血中レプチン検査のフローチャート】

一般社団法人 日本内分泌学会「全身性脂肪萎縮症診断における血中レプチン検査の運用指針」より引用



1) 代謝異常の発症前から脂肪の萎縮があり、脂肪萎縮とともに食欲が亢進し、インスリン抵抗性* 及び糖脂質代謝異常(症)** が認められる。

* インスリン抵抗性は、以下を満たす場合
HOMA-IR
(空腹時血糖値mg /dL × 空腹時インスリン値U/mL/405) ≥ 2.5

** 糖脂質代謝異常(症)は、下記の1～4(日本糖尿病学会の糖尿病診断基準)のいずれかが確認されたうえで、かつ5(メタボリックシンドローム診断基準検討委員会、メタボリックシンドロームの定義と診断基準)を満たす場合とする。

1. 早朝空腹時血糖値 126mg /dL 以上
2. 75gOGTT で2時間値 200mg /dL 以上
3. 随時血糖値 200mg /dL 以上
4. HbA1c 6.5%以上
5. 血中中性脂肪値 150mg /dL 以上

2) 脂肪萎縮の発症時期・家族歴、脂肪萎縮と関連する病歴の問診

3) 他疾患とは、主にはコントロール不良の糖尿病、悪液質、インスリン受容体異常症、部分性脂肪萎縮症、限局性脂肪萎縮症等である。

【参考 URL】(2021年7月20日閲覧)

一般社団法人 日本内分泌学会「全身性脂肪萎縮症診断における血中レプチン検査の運用指針」

http://www.j-endo.jp/modules/news/index.php?content_id=119